

令和4年度第2回成田市保健福祉審議会子ども・子育て支援部会
会議結果概要

1 開催日時

令和4年10月25日（火）10：00～10：40

2 開催場所

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

（委員）

山田部会長、飯田委員、高橋委員、高野委員、前田委員、
中村委員、古川委員

（事務局）

健康こども部：高橋部長

子育て支援課：谷崎課長、狹山課長補佐、椎名係長、青柳主査、
藤本主事

保育課：宮崎課長、多田主幹、北見係長、久保木係長、鴻池係長

健康増進課：門井課長、田中係長

社会福祉課：小竹課長

4 議題

（1）第2期成田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて（案）

5 その他

6 配布資料

・資料1 第2期成田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
（案）

7 議事

○議題（1）第2期成田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについ
て（案）

（「資料1 第2期成田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについ
て（案）」に基づき事務局から説明。主な質疑応答は、以下のとおり。）

部会長：待機児童が発生していればその状況について伺いたい。

事務局：保育園の待機児童の状況は、本年4月1日現在で8名であった。計画の中間見直しの中でも説明したとおり、年度末に向けて入所申し込みが増加していく状況である。最新の10月1日現在の状況では、待機児童は31名であり、その内訳としては、0歳児12名、1歳児11名、2歳児6名、3歳児1名、4歳児1名である。量の見込みと確保方策の比較では、市全体としては確保方策の方が上回っている中、待機児童が発生している状況であり、その要因としては特定の保育施設への希望が集中することや地区の偏りが見られ、特に遠山地区については、他地区の施設を利用しにくいといった事情もあり、待機児童が多く発生している状況である。

委員：平成児童ホームの待機児童が多く、利用の申し込みをしても公津の杜児童ホームを案内される場合もあると聞いている。先ほどの説明で、平成児童ホームの増設計画があるとのことだったが、時期や定員増の規模について伺いたい。

事務局：平成児童ホームについては、現在、施設整備を進めており、令和6年4月に定員を40名増員する予定である。また、令和5年度については学校の校舎を一部利用することを検討しており、できるだけ広い部屋を借用し、定員を超えた受け入れに向けて協議を行っているところである。

○その他

委員：他市より転入してきた親子に聞いた話だが、成田市では子どもが遊べる場所が少ないと言っていた。自分で探しても、時間制限があることや、常設している遊び場が少ないことなどもあり、以前住んでいた市へ戻りたいと言っていた。そういう話を聞くと、個人的にも寂しいと思う。また、学校の振替休暇が月曜日にあたる場合は、公民館などの休館日と重なる場合もあり、子どもたちが利用できないのでは、と感じている。子育て世代の親子に寄り添った政策を進めていただきたいと思うが、市の考えは。

事務局：成田市では、子育て支援事業として、なかよしひろばを3か所と、その他公立、私立保育園などにおいても子育て支援センターを設置して

おり、小さなお子さんがいる家族が利用することができる。また、赤坂センター地区への複合施設整備に関しては、子育て支援施設についても今後検討を進めていく予定である。

なお、公民館等の休館については、成田市全体の公共施設の運用にも関わることになるので、健康こども部だけの判断では一概に答えることはできないが、今後の利用の希望等を含めて、公共施設全体として検討していくべきものと思われる。